

# グローバル・スタディ科 授業実践報告

単元名 お気に入りの人を紹介しよう！

令和6年1月24日（水）第5校時  
授業実践 第6学年1組

## 《本時の目標》

- ・友だちの紹介したい人について、気になったことや、もっと知りたいことを、相手に分かりやすく英語で質問している【思考・判断・表現】

## 深い学びポイント

1 つかむ	2 見通す	3 自力	4 協働	5 練り上げ	6 メタ認知
《授業展開の工夫》					
①（聞き手の視点）お気に入りの人について聞き、自分が気になったことを質問したり、質問をするための文章を考えたりし、					
②（話し手の視点）相手からの質問を聞いたり、回答を考えたりすれば、					
《児童の変容》					
①相手の話に加え、自分が知りたかったことを知ることができ、より理解が深まる対話が生まれるとともに、					
②相手の話をしっかりと聞く姿勢が見られ、相手が話すお気に入りの人を選んだ理由に加え、自分が知りたかったことを知ることができ、					
③さらに、自分にはない相手の視点で内容を考え、様々な表現を駆使して英語を話す姿が見られ、「深い学び」が実現されるであろう。					

## 深い学びに到達させる手立て1

児童自身に間違えても恐れず英語を話すことを意識させたため、積極的に活動に参加することができた。



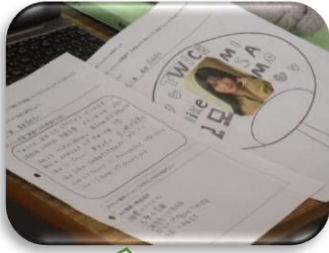
ALTの先生にも通じるかな…？



この選手が好きな理由は…。

## 深い学びに到達させる手立て 2

お気に入りの人をクラスの児童に伝えるために、どのようにしたら相手に伝わるか工夫をすることができた。



友だちに質問されたことを踏まえると内容を少し変えてみようかな…。



この内容を伝えれば、友だちがもっと発表を聞いてくれるかも…！

## 深い学びに到達した姿

- ◇相手からの質問を受けて、それに答えることによって、自分が伝えたいことと、相手が知りたいことの差を認識し、自分の考えを再構築することができた。
- ◇相手の話を聞くことによって、自分では思いつかなかった話し方に気付き、自分の発表にも取り入れることができた。

## 指導講評

さいたま市教育委員会指導1課 主任指導主事 紺頼 麻子先生

- ペア活動で疑問に思ったことをブラッシュアップする活動は、非常に難易度が高いが、児童が即興的に文法を修正できていたのがよかった。
- 聞き手はリスニング能力、即興のスピーキング能力が必要とされ、話し手は、理解する力や回答する力が必要とされる。今日の授業は、聞かれたことに対応して話すことをプラスしていくことができていた。
- 目を見て話す、伝わる声で話す、相手に伝わらなければ意味がない、にフォーカスしている授業だった。小学校段階では、知っている単語が少ないからこそ、知っている単語を駆使して伝えることが必要となる。教科書の後ろに載っている基本的な単語や、汎用性のある表現を身に付けさせることが大切である。
- ルーブリックは非常によく作られており、また共同編集によって振り返りを友達と共有できるのはよかった。

### 成果と課題

- ◎主体的な学びとして、学習の進め方を考えるときに、今まで学習したことを活用して活動できた。
- ◎振り返りの時間を長くすることで、自分一人で考える時間を設け、自分が本当に伝えたいことを相手意識をもちながら再構築することができた。
- ◎児童の間違いをリキャストによって修正させることで、児童が話すことに苦手意識をもたせず、コミュニケーション活動を行うことができた。
- ▲プレゼンテーションがよくできた一方で、質問ができなかった。
- ▲質問する側の目的意識を向上したい。
- ▲Whyに対する答えをもっと話すことができていればよかった。